

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	消防本部総務課 消防係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）内線446】		
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 2節 <input type="checkbox"/> 7項	効率的消防体制の確立	

業務の名称	消防団事務事業		
(1) 根拠法令・条例	消防組織法、長久手町消防団条例		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 58.8 % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：143人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	20,585千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	0.5% (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了 (予定) 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	住民の防火意識の向上及び防災力の充実を促す。																																															
② 業務が対象とする住民 (地域、層)	消防団員																																															
③ 業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員募集 ・ 広報活動計画 ・ 消防訓練計画 ・ 消防団協力事業所表示制度の実施 																																															
④ 業務の実施結果 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の入団促進に努める。 ・ 防火広報等を通じて、住民への防火意識の向上に努める。 ・ 消防訓練等を通じて、消防団員の消防技術の向上に努める。 ・ 事業所等と協力・連携体制を構築し、消防団員が活動しやすい環境整備や団員確保を図る。 																																															
	<p>【業務結果の説明指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>消防団員募集パンフレット配布 (枚)</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>火災予防広報活動 (延べ人数)</td> <td>835</td> <td>817</td> <td>665</td> <td>1,116</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>独り暮らし高齢者家庭防火点検 (件数)</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>各種訓練、教養 (延べ人数)</td> <td>3,729</td> <td>3,331</td> <td>3,344</td> <td>3,293</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>消防団協力事業所表示制度認定 (件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	消防団員募集パンフレット配布 (枚)	300	300	300	600		2	火災予防広報活動 (延べ人数)	835	817	665	1,116		3	独り暮らし高齢者家庭防火点検 (件数)	40	42	46	38		4	各種訓練、教養 (延べ人数)	3,729	3,331	3,344	3,293		5	消防団協力事業所表示制度認定 (件)				1
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																										
1	消防団員募集パンフレット配布 (枚)	300	300	300	600																																											
2	火災予防広報活動 (延べ人数)	835	817	665	1,116																																											
3	独り暮らし高齢者家庭防火点検 (件数)	40	42	46	38																																											
4	各種訓練、教養 (延べ人数)	3,729	3,331	3,344	3,293																																											
5	消防団協力事業所表示制度認定 (件)				1																																											

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- ・ 消防団活動等について住民の理解が必要である。
- ・ サラリーマン団員 (被雇用者) が多く町内在勤者が少ないことから、大規模災害時の対応が出来る団員確保が困難になっている。

(8) 改善実績（過去4年間の実績）

- ・町各種イベント、愛知県が主催するイベントに積極的に参加し、消防団活動の理解や団員募集を呼びかけている。また、町内公共施設等に消防団員募集ポスターを掲示やチラシを常設している。
- ・消防団協力事業所表示制度実施要綱を作成し、表示証の交付を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	三段階評価 (2～0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点：成果あり、適切だった　1点：ある程度適切だった　0点：適切でなかった、遅れている		
		平均 1.6点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">①. 前年度と同じく、そのまま継続する。②. 見直して継続（業務の拡大）③. 見直して継続（業務の縮小）④. 見直して継続（方法の改善）⑤. 見直して継続（他業務と統合）⑥. 廃止する。⑦. 休止する。
② 評価理由	住民に対する消防団活動の理解を深め、消防団の必要性を継続的にアピールしていく必要がある。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

① 改善目標	若年層が消防団という組織を知らなかったり、興味がないといったことが見受けられる。
③ 改善時期	早々
④ 改善方法	大学生、新成人等へのPRが必要である。